

教職員アンケート(前期)

< 4…ほぼ達成(9割以上) 3…おおむね達成(7割以上～9割未満) 2…あまり達成できていない(5割以上～7割未満) 1…全く達成できていない(5割未満)>

大項目	目標項目	1学期の重点【成果指標】	子供の姿 (4段階)	具体的方策【取組指標】	評価 (4段階)
学 び 育 成	A1 話す聞く	主体的に考えて発表し、最後まで聞く	2.8	教師の話：考えをつくる：交流＝1：1：1を意識し、交流の中で話し方・聞き方についての指導を行っている。	2.8
	A2 姿勢	立腰して学習する	2.7	学習道具を整えたり、座り方や聞き方などの学習規律を整える指導を適宜行っている。	3.2
	A3 援助要請	わからないことを先生や友達に尋ねる	3.1	子ども達自身で気付き、考え、学び合うような学習展開(発問・交流)の工夫を行っている。	2.9
	A4 声の大きさ	全体に聞こえる声で発言する	2.8	65dbを意識して声を出すように指導したり、声を出すための指導の工夫を行っている。	2.8

○「援助要請」(3.1)が最も高く、分からないことを先生や友達に尋ねる姿が育っている。

●「姿勢」(2.7)が最も低く、立腰や学習規律の定着が十分ではない。教師の取組評価に比べ、子どもの実態評価が低く、指導が行動変容に十分結び付いていないことが分かる。

自 信 育 成	B1 自尊感情	自分のよさや頑張りを見つける	2.9	児童が自分自身を振り返り、自己のよさや成長に気付く場を設定している。	3.2
	B2 挨拶	進んで挨拶をする	2.9	学校・家庭・地域での挨拶についての指導を適宜行っている。(挨拶の意義の指導 評価)	3.1
	B3 自主性	気づき、考え、行動する	2.7	教師からの指示ではなく、児童自らが考えて行動する(自己決定)ような場の設定や声掛けをしている。	2.9
	B4 他者理解・言葉遣い	違いを認め、思いやりをもつ	3.0	友達のよさや頑張りを見つけ伝える場を設定したり、「ふわふわ言葉を使う」ことの徹底を目指し、適宜指導を行っている。	3.4

○「他者理解・言葉遣い」(3.0)が高く、思いやりや友達を認める姿が育っている。教師の取組でも「友達のよさを伝える場の設定」(3.4)が全項目中でも高評価である。

●「自主性」(2.7)が低く、自ら気付き考えて行動する力に課題がある。教師の指示を減らし、選択・判断の機会を意図的に設定していく必要がある。

健 康 育 成	C1 体力作り	天気の良い日には、外に出て遊んでいる	3.0	自己の目標を立てて体育学習を行ったり、外遊びを推奨したりしている。	2.8
	C2 病気の予防	手洗い・うがいの徹底	3.1	熱中症予防・感染症予防の徹底を図っている。(手洗い 水分 帽子 換気等)	3.3
	C3 清掃	時間いっぱい黙々掃除をする	3.1	掃除の仕方を示し、教師も一緒に掃除に取り組んでいる。(掃除当番表の作成 率先垂範)	3.3
	C4 安全に気を付ける	安全や健康に気を付けて過ごしている	3.0	学校生活でのきまり「月の浦小のよい子」についての指導を行っている。	3.2

○「病気の予防」(3.1)、「清掃」(3.1)が高く、教師の取組も高い。健康・衛生面の意識が定着している。

●「体力づくり」(3.0)は比較的低く、外遊びや運動習慣のさらなる充実が必要である。

D 協働性の発揮・専門 的力量的の向上	D1 目標の共有化		毎月の学年徹底シートを共有し、学年チームで統一した指導を行っている。	3.4
	D2 学年研修会		教科指導や生徒指導、事務等で業務の分担を行い、学年研修会の効率化を図っている。	3.3
	D3 児童理解		子供を叱るより、よさや頑張りを見つけ、ほめている。	3.1
	D4 実践的指導力		校内研修や教科等研修会等の各種研修会へ参加し、同学年や職員に研修内容の報告を行っている。	3.1

○「目標の共有化」(3.4)が最も高く、学年チームとして統一した指導が進んでいる。

●「児童理解」(3.1)、「実践的指導力」(3.1)は他項目に比べてやや低い。夏休みのアセス研修等を授業改善や生徒指導に生かす取組の充実が必要である。

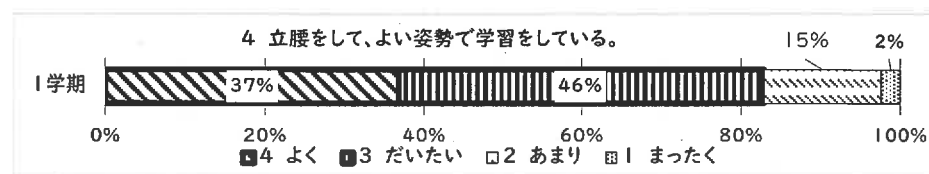
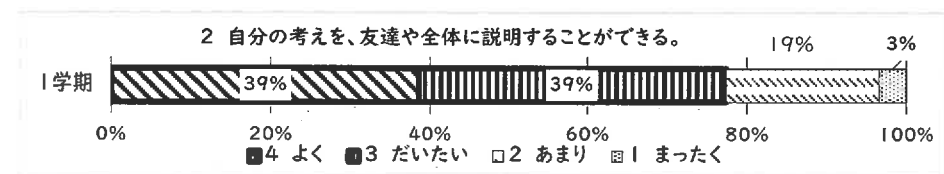
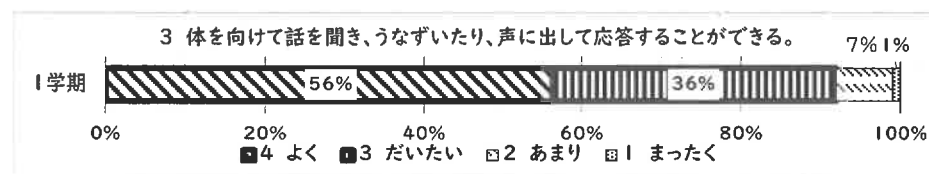
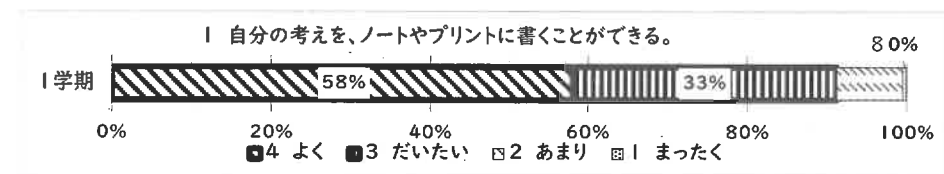
E 家庭・地 域との連携	E 1 家庭学習の習慣化		家庭学習強化週間の実施や学習の手引きの活用を通じた家庭との連携を図っている。	2.9
	E 2 家庭との連携		気になる児童や生徒指導上の問題等、家庭と連絡をとったり家庭訪問をしたりして解決している	3.3
	E 3 地域人材の活用		地域人材の（G T）の積極的な活用を計画・実施している。	2.7
	E 4 学校運営協議会		学校運営協議会の内容理解している。	2.9

○「家庭との連携」(3.3)が高く、家庭との情報共有や相談体制が機能している。

●「地域人材の活用」(2.7)が全項目中で最も低く、地域教育資源の活用が十分ではない。2学期以降、学校・家庭・地域が協働する体験活動や学習活動を計画的に実施していく必要がある。

【学び】主体的に分かるまで聴き、学び合う子供（学び合い）

		1 自分の考えを、ノートやプリントに書くことができる。				2 自分の考えを、友達や全体に説明することができる。				3 体を向けて話を聞き、うなずいたり、声に出して応答することができる。				4 立腰をして、よい姿勢で学習をしている。			
	実施人数	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく
合計人数	408	237	135	34	2	157	158	78	14	230	145	29	4	150	188	60	10
%		58%	33%	8%	0%	39%	39%	19%	3%	56%	36%	7%	1%	37%	46%	15%	2%

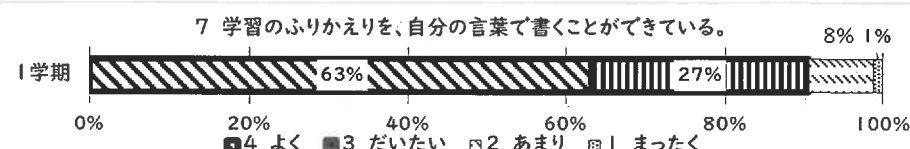
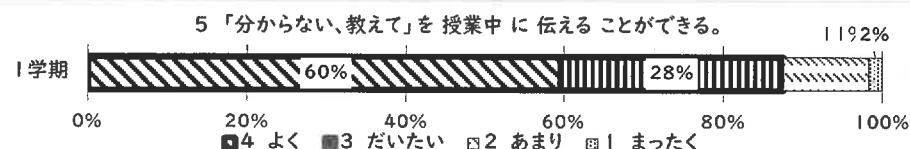


○「自分の考えをノートやプリントに書くこと」「体を向けて話を聞くこと」「立腰をしてよい姿勢で学習すること」は到達度80%を超えており、学習に向かう基本的な態度が身に付いていることが分かる。日頃からの授業改善や学習規律の定着に向けた取組の成果が表れていると考えられる。

●「自分の考えを友達や全体に説明すること」は到達度80%に達しておらず、自分の考えを相手に分かりやすく伝える力の育成が課題である。考えをもつことはできていても、それを言葉で表現する力には課題が見られる。今後は、ペアやグループでの対話活動を増やし、安心して発言できる環境づくりを進めていく必要がある。

【学び】主体的に分かるまで聴き、学び合う子供（学び合い）

		5 「分からない、教えて」を授業中に伝えることができる。				6 全体に聞こえる声の大きさと発表することができる。				7 学習のふりかえりを、自分の言葉で書くことができている。			
		4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく
実施人数	408	243	114	44	7	204	131	64	9	258	111	34	5
	%	60%	28%	11%	2%	50%	32%	16%	2%	63%	27%	8%	1%



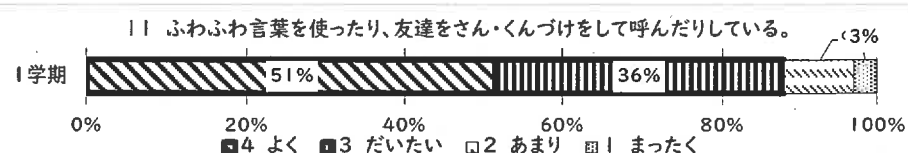
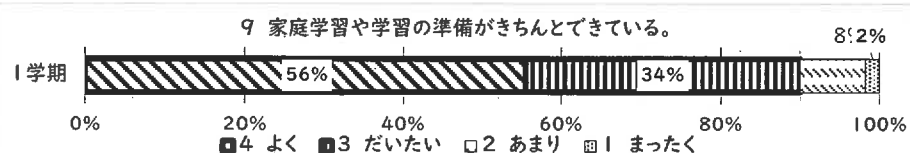
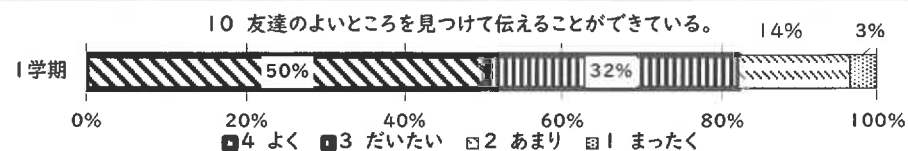
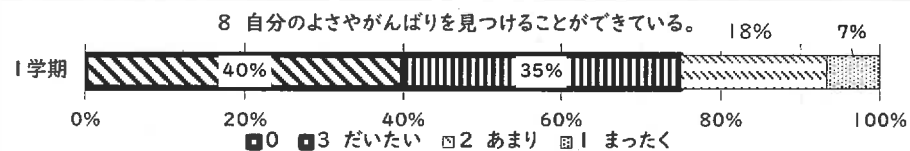
○「分からない、教えてと伝えること」「全体に聞こえる声で発表すること」「学習のふりかえりを自分の言葉で書くこと」は到達度80%を超えており、主体的に学習へ参加しようとする意識が育っていることが分かる。特に、ふりかえりについては、自分の学びを言葉で整理しようとする姿が見られる。今後も学びを振り返る機会を継続し、学習内容の定着につなげていく必要がある。

●「全体に聞こえる声で発表すること」は到達度80%を超えているものの、他の項目と比べると割合は高くない。多くの人の前で発表したりすることに不安を感じる児童がいると考えられる。今後は、互いに支え合いながら学べる学級風土を育てるとともに、小集団での発表機会を積み重ねていく必要がある。

児童アンケート（前期）

【人間性】自他の良さや多様性尊重し、他者を思い支え合う子供（支え合い）

8 自分のよさががんばりを見つけることができています。					9 家庭学習や学習の準備がきちんとしてできています。					10 友達のよいところを見つけて伝えることができています。					11 ふわふわ言葉を使ったり、友達をさん・くんづけをして呼んだりしている。				
実施人数	3 だいたい	2 あまり	1 まったく		4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく		4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく		4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	
合計人数	408	163	143	75	27	226	140	34	7	205	130	59	14		210	148	38	12	
%		40%	35%	18%	7%	56%	34%	8%	2%	50%	32%	14%	3%		51%	36%	9%	3%	



○「家庭学習や学習の準備」「ふわふわ言葉を使うこと」は到達度80%を超えており、基本的な学習習慣や思いやりのある言動が定着していることが分かる。

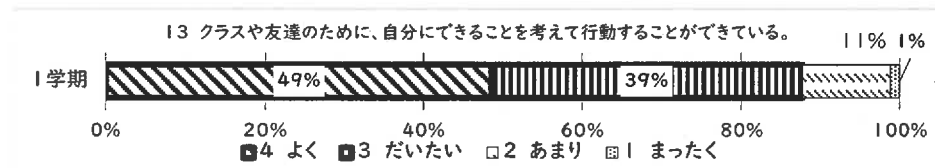
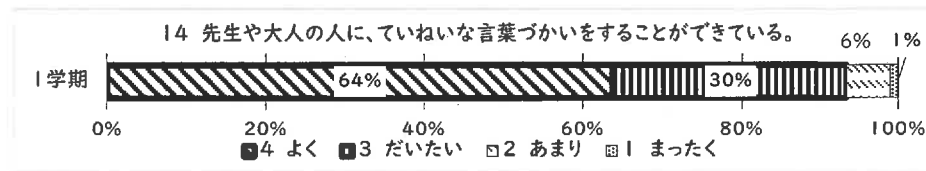
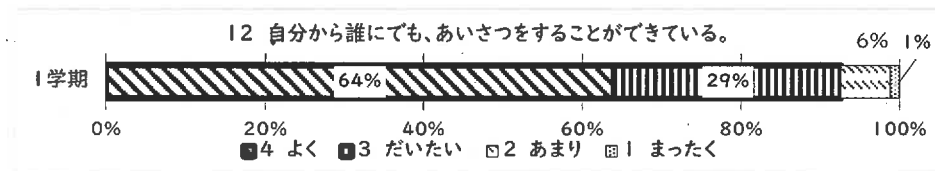
日頃の継続した指導や家庭との連携の成果が表れている。今後も児童のよい姿を価値付けしながら継続的な習慣化を図っていくようにしてほしい。

●「自分のよさががんばりを見つけること」「友達のよいところを見つけて伝えること」は到達度80%に達していない。自分自身や友達のよさに目を向ける意識が十分に育っていないことが考えられる。今後は、振り返りや認め合い活動を充実させることで、自他のよさを実感できる機会を増やし、自己肯定感や他者理解の向上を図ってほしい。

児童アンケート（前期）

【人間性】自他の良さや多様性尊重し、他者を思い支え合う子供（支え合い）

		12 自分から誰にでも、あいさつをすることができている。				13 クラスや友達のために、自分にできることを考えて行動することができている。				14 先生や大人の人に、ていねいな言葉づかいをすることができている。			
		4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく
実施人数	408	261	117	25	5	198	160	45	5	260	121	23	4
合計人数		261	117	25	5	198	160	45	5	260	121	23	4
%		64%	29%	6%	1%	49%	39%	11%	1%	64%	30%	6%	1%

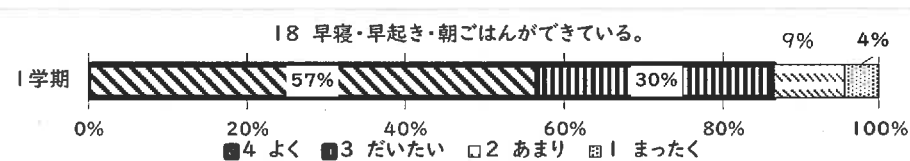
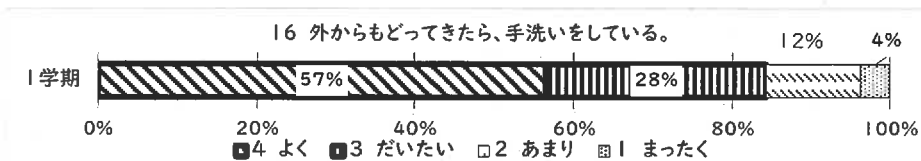
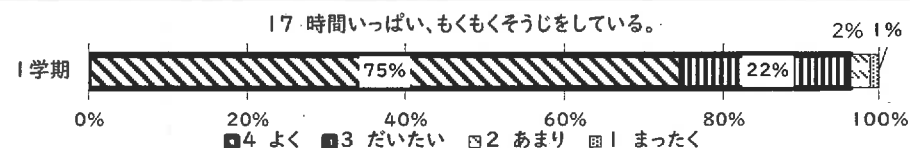
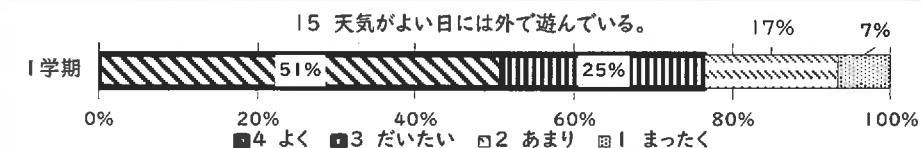


○「あいさつをすること」「クラスや友達のために行動すること」「丁寧な言葉遣いをすること」は到達度80%を超えており、周囲の人を大切にしようとする意識が高まっていることが分かる。学校生活の中で思いやりや規範意識が育ってきている成果と考えられる。今後も児童のよい行動を積極的に認め、さらに実践意欲を高めてほしい。

児童アンケート（前期）

【健康】心と体を鍛え、切磋琢磨し互いに高め合う子供（高め合い）

	15 天気がよい日には外で遊んでいる。	16 外からもどってきたら、手洗いをしている。	17 時間いっぱい、もくもくそうじをしている。	18 早寝・早起き・朝ごはんができています。
実施人数	4 よく 3 だいたい 2 あまり 1 まったく	4 よく 3 だいたい 2 あまり 1 まったく	4 よく 3 だいたい 2 あまり 1 まったく	4 よく 3 だいたい 2 あまり 1 まったく
合計人数	408	408	408	408
%	51% 25% 17% 7%	57% 28% 12% 4%	75% 22% 2% 1%	57% 30% 9% 4%



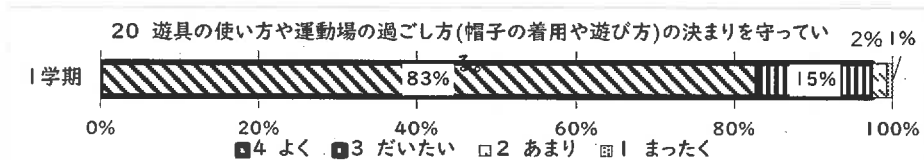
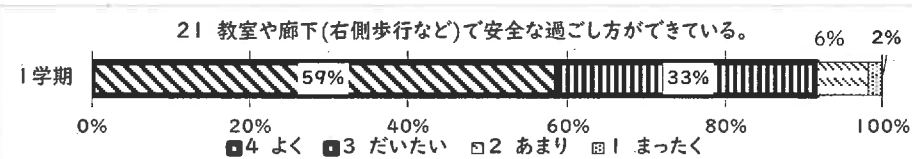
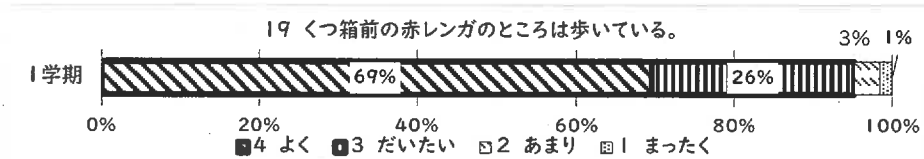
○「外から戻った後の手洗い」「時間いっぱいもくもく掃除をすること」「早寝早起き朝ごはん」は到達度80%を超えており、健康や環境を大切にしようとする意識が育っていることが分かる。今後も望ましい行動を継続できるよう、具体的な声かけや価値付けを継続して行ってほしい。

●「天気のよい日に外で遊ぶこと」は到達度80%に達していない。近年は熱中症予防のため、暑さ指数（WBGT）が高い日に外遊びを制限する機会が増えており、児童の意識や意欲だけでなく、活動環境も影響していると考えられる。気温の低い時間帯に運動の機会を設けるなど、安心・安全を確保しながら運動習慣の定着を図っていく必要がある。

児童アンケート（前期）

【健康】心と体を鍛え、切磋琢磨し互いに高め合う子供（高め合い）

		19 くつ箱前の赤レンガのところは歩いている。				20 遊具の使い方や運動場の過ごし方(帽子の着用や遊び方)の決まりを守っている。				21 教室や廊下(右側歩行など)で安全な過ごし方ができている。			
		4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく
実施人数	406	282	105	13	6	336	59	7	3	238	135	26	7
	%	69%	26%	3%	1%	83%	15%	2%	1%	59%	33%	6%	2%



○ 「赤レンガのところを歩くこと」「遊具や運動場の決まりを守ること」「安全な過ごし方をすること」は到達度80%を超えており、安全を意識して学校生活を送っている児童が多いことが分かる。日頃からの安全指導やルールの徹底が成果として表れている。今後も継続して安全への意識を高めていきたい。

保護者アンケート(前期)

①家庭学習・学習準備

4	67人	22%
3	147人	49%
2	67人	22%
1	20人	7%
計	301人	100%

②進んで発表

4	80人	27%
3	110人	37%
2	84人	28%
1	27人	9%
計	301人	100%

③考えを書く

4	80人	27%
3	146人	49%
2	52人	17%
1	23人	8%
計	301人	100%

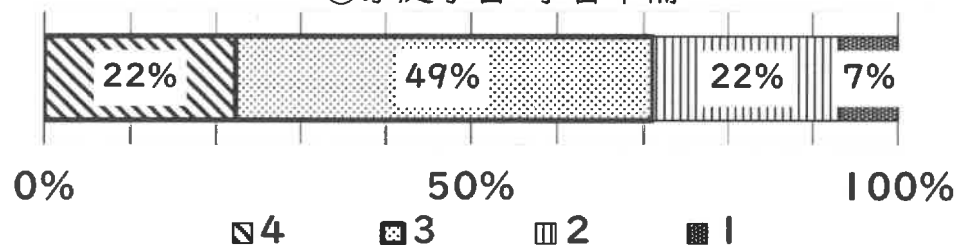
④自分のよさや頑張り

4	64人	21%
3	155人	51%
2	70人	23%
1	12人	4%
計	301人	100%

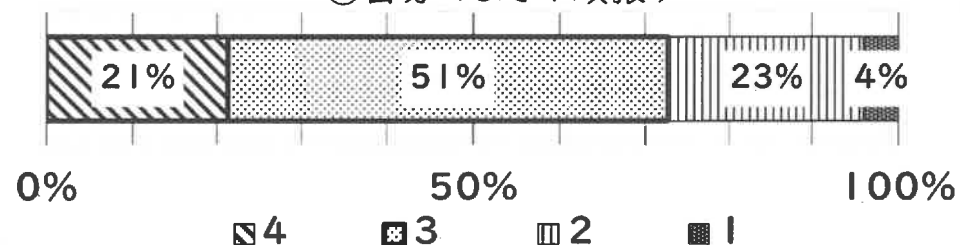
⑤進んで挨拶

4	109人	36%
3	123人	41%
2	60人	20%
1	9人	3%
計	301人	100%

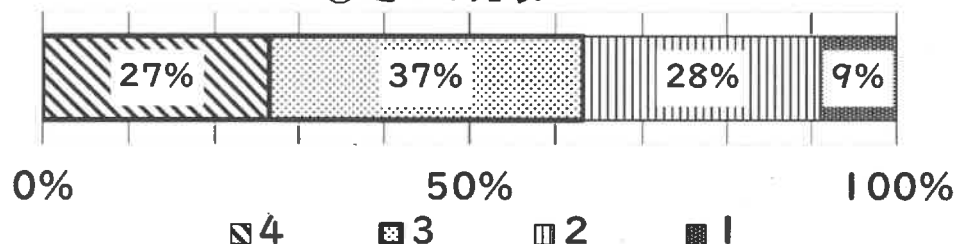
①家庭学習・学習準備



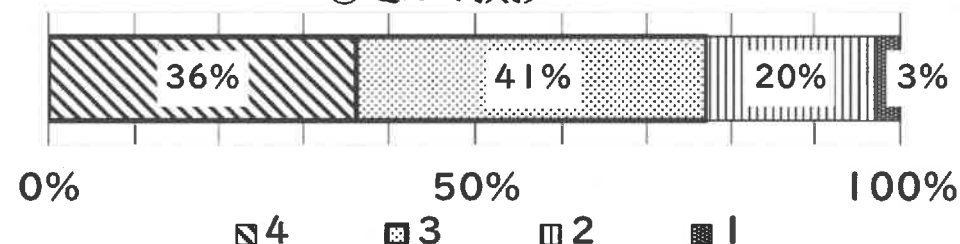
④自分のよさや頑張り



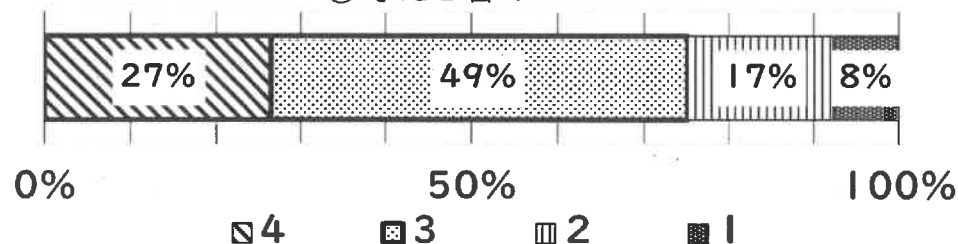
②進んで発表



⑤進んで挨拶



③考えを書く



○「あいさつ」や「考えを書く力」については、75%を超える保護者から肯定的に評価されており、日頃の学習活動や生活指導の積み重ねが成果として表れていると考えられる。

●全項目で80%に到達していない。「進んで発表」は64%にとどまり、最も低い結果であった。今後は、子どもが自信をもって表現する場の充実を図り、進んで表現できる子を育てていく必要がある。

保護者アンケート(前期)

⑥相手を思いやる言葉遣い

4	75人	25%
3	155人	51%
2	67人	22%
1	4人	1%
計	301人	100%

⑦早寝・早起き・朝ご飯

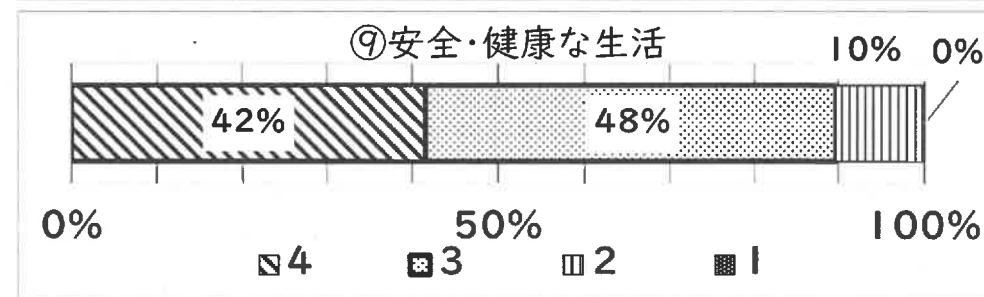
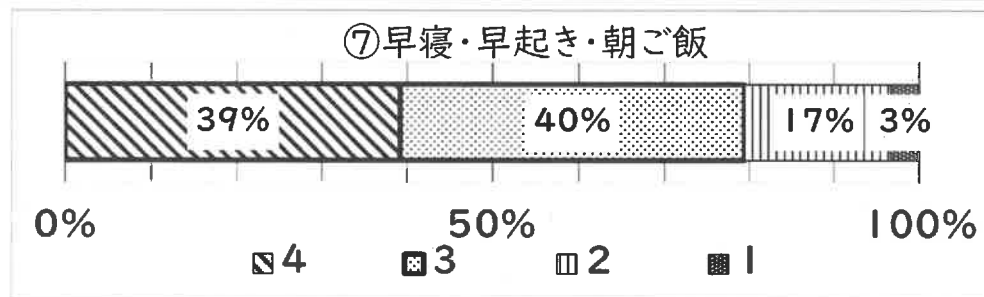
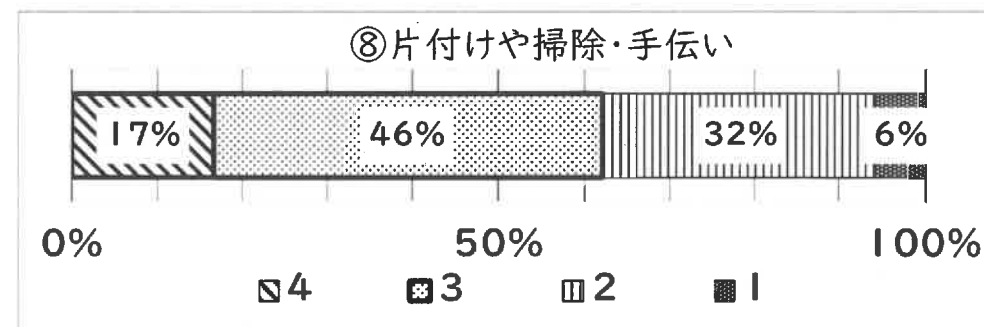
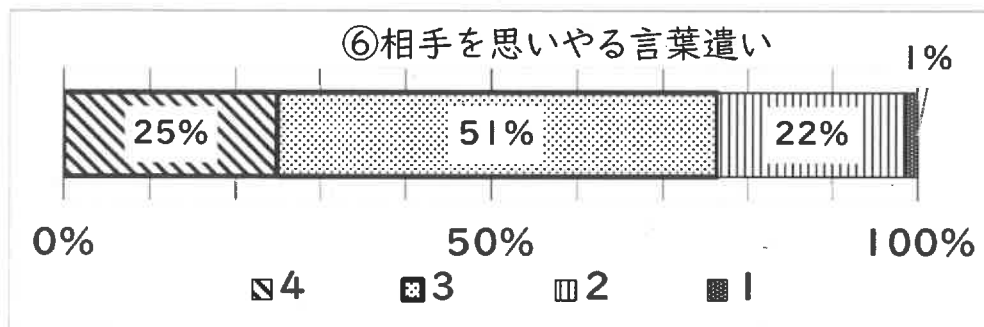
4	118人	39%
3	121人	40%
2	52人	17%
1	10人	3%
計	301人	100%

⑧片付けや掃除・手伝い

4	50人	17%
3	137人	46%
2	97人	32%
1	17人	6%
計	301人	100%

⑨安全・健康な生活

4	125人	42%
3	145人	48%
2	30人	10%
1	1人	0%
計	301人	100%



○「安全・健康な生活」が90%と目標の80%を大きく上回り、保護者から高い評価を得ている。また、「早寝・早起き・朝ご飯」は79%、「相手を思いやる言葉遣い」は76%となっており、基本的な生活習慣や規範意識について一定の成果が見られる。特に「安全・健康な生活」は、日頃の指導が行き届いている成果と考えられる。

●「片付けや掃除・手伝い」は63%と低く、家庭における役割意識や生活実践に課題が見られる。思いやりのある言動や家庭での手伝いなど、日常生活の実践的な取組を充実させていく必要がある。